

## 平成 24 年度 第 1 回鹿児島県大学図書館協議会講演会記録

日 時：平成 24 年 11 月 1 日(木)14:45～1630

場 所：鹿児島県立短期大学 本館 2 階 大会議室

テーマ：リニューアル、レイアウト、展示による図書館の魅力化

講 師：岩下雅子氏（鹿児島県立短期大学）

演 題：「リニューアルによる図書館の魅力化－鹿児島県立短期大学附属図書館を中心に－」

参加者：10 名

### ■はじめに

鹿児島県立短期大学概要 学生数 600 人弱、蔵書数 13 万冊（うち図書館内 10 万冊）  
以前、1,500 人規模で蔵書数は 5～6 万冊の学校図書館勤務の経験から、学校図書館には勢いがあると感じている。今日の話から図書館をつくっていくことは面白いと感じて頂ければ幸いである。

■「かごしま探検隊」（平成 24 年 6 月 9 日 KTS）で放送された「利用者が使いやすい図書館へ～県短附属図書館のリニューアルオープン～」を視聴。

### ■リニューアル以前

赴任当時の図書館をスライドで紹介

### ■最初の改装

- ・学生が興味を持って入りやすい工夫（入口に低書架の設置）や配置をかえ、素材も木製で統一した。
- ・図書館周辺（外）の庭の剪定や手作りのディスプレイによる演出等の環境整備をすることで図書館へ入りやすい雰囲気をつくった。

### ■図書館の増改築とその後

- ・壁面高層書架（4m）に全集を配架，一般書架は 2m38cm で統一。震度 6 まで対応出来る耐震装置と耐震シートを書架に設置している。
- ・書架やスツールの色・デザインにこだわり，グリーンインテリアやキャレルディスクの足元には荷物入れのボックスを設置。
- ・電動書架を 2 階に配置し，無機質にならないようにカウンターテーブルとハイ・チェアを窓側に設置した。
- ・ミニギャラリーの展示を工夫している（毎月テーマ展示）

### ■県立短期大学図書館以外の図書館でのリニューアル経験

- ・以前勤務していた県立高校の図書館では、経費を抑えるリフォームに努めた。
- ・生徒図書委員と共に図書館HPの情報発信や図書館オリジナル・ブックカバーなど工夫した。

- ・この他、台北市立図書館や熊本県立図書館、宮崎県立美術館、オプシアミスミ、フランクフルトのインフォメーション・ツーリストなど、さまざまな図書館の機能的なデザインなどを参考例として紹介。

#### ■まとめ

- ・図書館の雰囲気が変われば、図書館へ学生や教職員の足が向いてくる。
- ・図書館のリニューアル・模様替えは、貸出冊数だけでなく図書館の入館者数も大幅に伸びることに繋がる。

#### ■質疑応答

質問：リフォームに際し、学生へのアンケートなどは行ったのか

回答：学生から色々な意見が寄せられた。ディスプレイは大学図書館・学校図書館・公共図書館それぞれの特色を活かしたほうが良い。学生が本を探しやすく、しかし、古い本と新しい本が整然とならんでいるところも見てほしい。

質問：様々な取組を行っているが、通常業務とはどのように両立させているのか

回答：学生(KLC)の協力が得られる部分も大きい。

質問：ブラウジングコーナーで学生が大声で話すことはないか

回答：学生が騒ぐことはない。

質問：図書館をあえて話し合いができるような空間にしているのか

回答：本館2Fの1室以外は普通の図書館と利用は同じである。